

新たな総合計画「長期ビジョン編」素案（大要） （2060年頃の目指すべき将来像）

2 将来ビジョン（2060年頃の姿）

- （1）未知なる社会へ挑戦「かがやく とくしま」
- （2）未知なる課題を超越「しなやか とくしま」
- （3）未知なる魅力を創造「ときめく とくしま」

2 将来ビジョン（2060年頃の姿）

（１）未知なる社会へ挑戦「かがやく とくしま」

一人ひとりが夢や希望を持ち、
その実現に向かって、誰もが輝くことのできる徳島

【人生100年時代、元気な高齢者が地域で活躍するエイジレス社会が実現している】

【人生100年時代】

- ・最先端の医療サービスや健康経営・予防の取組みにより、健康寿命は大きく伸び、豊かな自然や食に恵まれ、暮らしのサポートが充実した徳島では、多くの県民が100歳になっても住み慣れた地域で元気に暮らし、人生を楽しむことのできる「人生100年時代」を迎えています。

【エイジレス（生涯現役）社会】

- ・県民誰もが、年齢に関わりなく、自ら培ってきた知識や経験、技能を活かし、仕事や社会活動などを通じて、地域でいつまでも活躍し続けられるエイジレス（生涯現役）社会が実現しています。

【子どもたちの笑顔が地域にあふれ、未来を切り拓くたくましい若者が育まれている】

【子育てへの理解・子育てしやすい社会経済環境】

- ・「子どもは宝」という意識が社会全体に浸透し、若い世代が安心して働くことができ、結婚、妊娠、出産、子育てができる社会経済環境が実現しています。

【地域ぐるみの子育て支援】

- ・ICTの飛躍的な進展により、テレワークなどの柔軟で多様な働き方が一層広まり、ライフスタイルに応じた子育て環境を選択することができ、多彩な幼児教育・保育サービスの提供や、経験豊富な高齢者による育児支援といった地域ぐるみで支える子育て環境が充実しています。

【若者の郷土への理解・愛着】

- ・学校、家庭及び地域の連携や特色ある教育により、生きる力を支える学力や多様な価値観を身に付け、郷土への理解や愛着を深めた多くの若者が、「ふるさと徳島」への誇りを抱き、社会へ巣立っています。

【超スマート社会（教育環境に起こる変革）】

- ・IoTやAIの活用により、どこに住んでいても多様な学習の機会や学びの環境が整えられ、障がいのある子どもも障がいのない子どもも、希望する場所で習熟度に応じたきめ細やかな教育を受けながら、個性や能力を最大限に伸ばしています。

【グローバル教育・キャリア教育】

- ・英語教育や留学、異文化体験によるグローバル人材の育成や、産業界・地域と連携したキャリア教育が、VR（バーチャルリアリティ）による体験学習なども活用しながら、子どもの発達段階に応じて体系的に行われ、グローバルな視野や勤労観・職業観を身に付けた、未来を創造するたくましい若者が世界を舞台に活躍しています。

【誰もが健康的で質の高い生活を送ることのできる社会が実現している】

【生涯健康・ＱＯＬ】

- ・幼少期からの食育や「地産地消」の推進により、バランスのとれた食生活や、適度な運動や健康づくりを楽しむ習慣が浸透し、生涯健康を保ち、生活の質（ＱＯＬ）の高い暮らしが実現しています。

【医療・福祉・介護の連携・充実】

- ・医師の「地域偏在」や「診療科偏在」の解消や広域救急医療体制の更なる充実はもとより、遠隔医療システムや機能補助スーツ・ロボットによるサポート、医療・福祉・介護の包括的な連携・充実により、すべての県民が住み慣れた場所で安心して暮らせる地域社会が実現しています。

【超スマート社会（障がい者、高齢者の余暇の変革）】

- ・ＶＲや歩行支援ロボット、コミュニケーション支援技術の進展により、障がいのある人もない人も、若者から高齢者まですべての人がともに様々なスポーツやレジャーを楽しんでいます。

【医療研究の進展・糖尿病の克服】

- ・産学官の連携や県民意識の醸成など県を挙げた取組みにより、世界的な課題であった糖尿病を克服するとともに、世界レベルの研究開発臨床拠点として国内外から製薬企業や研究開発機関が集積し、研究成果を基に幅広い分野で新たな医療・サービスが生まれ、世界の健康長寿にも貢献しています。

【誰もがいきいきと暮らし、学び、働き、活躍することのできる“ダイバーシティ徳島”が創り出されている】

【ダイバーシティ】

- ・年齢や性別、障がいの有無等に関わらず、すべての人が安心して暮らし、自立しながら支え合い、個性や能力を発揮して活躍し続けられる「ダイバーシティ徳島」が実現しています。

【男女共同参画】

- ・性別に関わらず、様々な分野での活躍や、キャリアアップが可能となり、また、育児や介護に携わることが当たり前となるなど、男女が互いに尊重し合いながら社会の中で充実した人生を送っています。

【リカレント教育・柔軟な労働環境】

- ・誰もがライフステージや年齢に関わらず、人生をより充実させるための学び直し「リカレント教育」を受けることができ、柔軟な職場復帰や転職などができる労働環境が整っています。

【超スマート社会（ワークライフバランス・働き方改革）】

- ・ＩＣＴの飛躍的な進展により、テレワークをはじめとする多様な働き方は一層進化し、ワーク・ライフ・バランスが図られ、長時間労働の解消や過労死ゼロが実現するとともに、働く時間や場所に縛られず、いつでも、どこでも働くことのできる環境が整い、一人ひとりが“働き方を選ぶ”社会が実現しています。

【人と人、人と地域のつながりの和が広がっている】

【「共助・共生」社会】

- ・「共助・共生」の意識が浸透し、福祉や教育、環境保全、まちづくりなど、生活を取り巻くあらゆる

る領域で、住民やNPO、企業をはじめとする多様な主体による活動が地域を支えています。

【ソーシャルビジネス】

- ・地域のキーパーソンが中心となり、代々受け継いできた地域資源をベースに多様な人材や異文化との連携により、地域活性化や環境活動などの社会的な課題解決を目的とするソーシャルビジネスなどに取り組んでいます。

【新たな公共私】

- ・行政サービスと地域の共助活動が融合し、住民サービスが、住民主体のシェアリングエコノミーとして提供されるなど、「新たな公共私協力関係」が構築されています。

【関係人口】

- ・阿波おどりや人形浄瑠璃などの伝統文化や県人会活動などを通じて、全国に暮らす徳島と関わりを持つ人々との「新たなつながり」が生まれ、「人の絆」の力で、地域の課題解決が図られ、持続可能で魅力ある地域社会が形成されています。

（２）未知なる課題を超越「しなやか とくしま」

いかなる困難もしなやかに乗り越え

強靱で、経済や環境とも調和した持続可能な社会・徳島

【自然災害に強いまち・地域・人づくりが進んでいる】

【ハード・ソフト両面からの県土強靱化】

- ・あらゆる災害から県民の生命、財産、経済活動を守り、また速やかな復旧・復興につなげるため、事前復興の考え方を基本に、ハード・ソフト両面から県土の強靱化が図られています。

【自然災害に強い“まち”づくり】

- ・公共施設や民間建築物の耐震化をはじめ、避難施設や緊急輸送道路の整備、集中豪雨や大型化する台風の到来に備えた治水・土砂災害対策などの事前防災・減災対策が進むとともに、IoTやAI等を活用したインフラの戦略的・効率的な維持管理がなされており、災害に強くしなやかな県土が広がっています。

【自然災害に強い“地域”づくり】

- ・県内全域において、自助・共助・公助の連携や、自主防災組織による取り組みが行われるなど、地域ぐるみの防災力が向上しています。

【自然災害に強い“人”づくり】

- ・幼少期からの防災教育等により、県民一人ひとりに防災意識が定着し、地域防災リーダーを中心に事前復興計画の策定や、主体的な避難行動につながる防災訓練が行われるなど、自然の脅威から命を守る地域の絆が結ばれています。

【安全・安心な暮らしと豊かな自然が息づいている】

【消費者行政】

- ・本県が取り組んできた「ライフステージに応じた消費者教育」やSDGsを見据えたエシカル消費の普及、高齢者や障がい者の消費者被害防止のための「見守りネットワークの構築」などの取

組みが全国スタンダードとなり、「徳島スタイル」の消費社会が定着しています。

【食の安全安心】

- ・安全・安心な農産物などの県産食品の供給や、幼少期からの食育、地産地消の浸透、食品の表示適正化の推進などの取組みにより、安全で安心な食生活や豊かな食文化が継承されています。

【交通安全・防犯】

- ・地域住民と警察・行政等が一体となった交通安全運動や防犯活動の広まりにより、交通事故の減少とともに、特殊詐欺やDV、ストーカー、薬物乱用といった日常生活を脅かす犯罪等が根絶された社会が実現しています。

【水環境の保全】

- ・適切な污水处理などにより清潔で快適な生活環境が確保され、豊かな水辺空間を求めて子どもから高齢者まで多くの人々が訪れ、楽しんでいます。

【森林づくり・鳥獣対策】

- ・ブナ林などの貴重な自然林が大切に守られるとともに、生態系のバランス崩壊や農林水産業被害を招く野生鳥獣の適正管理も行われ、本県の恵み豊かで魅力ある自然が将来世代へと大切に引き継がれています。

【農村漁村・中山間地域の景観】

- ・農山漁村や中山間地域では、自然環境に配慮した美しい景観を活かした地域づくりが定着するとともに、「にし阿波の傾斜地農耕システム」に代表される、徳島ならではの伝統的な農林水産業の文化的価値が世界的に認められ、豊かな自然と潤いのあるふるさとの風景が新たな価値を生み出しています。

【環境・経済・社会の調和する持続可能な社会が創り出されている】

【持続可能な社会（県民の意識向上）】

- ・県民一人ひとりから社会全体にいたるまで自然との共生や資源の有限性、地球規模の環境問題など、社会的課題への意識がさらに高まり、環境にやさしいライフスタイルや社会経済システムが選択され、環境・経済・社会の調和する持続可能な社会が創出されています。

【持続可能なライフスタイル（県民の消費行動の転換）】

- ・エコカーなどの環境に配慮した製品・サービスの購入や、プラスチックゴミや食品ロスの削減、モノの所有から必要なときに必要な量だけ利用する共有（シェア）への意識転換など、持続可能なライフスタイルが広がっています。

【持続可能なライフスタイル（環境にやさしい移動手段への転換）】

- ・「電気」、「燃料電池（FC）」利用のモビリティシステムが定着するなど、環境にやさしいヒトやモノの移動スタイルが確立しています。

【気候変動対策（緩和策：エネルギーの地産地消）】

- ・太陽光をはじめ自然エネルギーが主力電源となり、県内各地において小水力発電や豊富な森林資源を活用した木質バイオマス発電、またその熱利用が広まり、地域分散型のエネルギーシステムが確立され、「エネルギーの地産地消」が実現しています。

【気候変動対策（緩和策：森林づくり・カーボンオフセット）】

- ・公有林化が進んだ森林は、間伐や広葉樹林化により多様な生物が生息する豊かな森へと生まれ変

わり、水資源の確保や土砂災害の防止、カーボン・オフセットを活用した温暖化対策の推進など、県民生活に様々な恩恵をもたらしています。

【気候変動対策（適応策：ビジネスモデルの転換）】

- ・地球温暖化による気候変動に対しても、農産物の品種改良や企業のビジネスモデルの転換など、しなやかな「適応策」が社会経済システムの中に浸透し、強靱でしなやかな県民生活が確立されています。

【すべてのヒト・モノ・地域がつながる“超スマート社会”が実現し、誰もが豊かな暮らしを享受できる社会が実現している】

【超スマート社会（すべてのヒト・モノ・地域がつながる社会）】

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボットなどの革新技术が県民生活のあらゆる場面に実装されることにより、すべてのヒト・モノ・地域がつながり、様々な知識や情報が共有され、県民誰もが個々のニーズに応じて、必要な時に、情報・モノ・サービスを受けることができる「超スマート社会」が実現しています。

【超スマート社会（各分野に起こる変革）】

- ・産業活動において生産性の向上や新たなサービス・付加価値が生み出されるとともに、くらしの面では、時間・場所に縛られない多様な働き方・学び方や、AIやロボットによる子育て・介護サービスなどの実現、地域においては、自動運転によるモビリティサービスや現金を必要としないキャッシュレス社会が実現するなど、革新技术によってあらゆる分野に“変革”がもたらされ、県民誰もが豊かな暮らしを享受しています。

【革新技术が幅広くあらゆる産業に取り入れられ、生産性の向上や新たな付加価値を生み出している】

【超スマート社会（産業全般に起こる変革）】

- ・あらゆる産業に革新技术が取り入れられ、これまで分散していた情報やテクノロジーの融合が生まれ、資源・エネルギーの使用効率化や労働力不足への対応などの社会的課題の解決や、新たな価値の創造につながっています。

【超スマート社会（ものづくり分野に起こる変革）】

- ・ものづくり分野では、AI、ロボットによる生産管理の自動化・効率化が進むとともに、消費者ニーズをリアルタイムできめ細かくとらえ、個々のニーズに応じた製品・サービスを提供する新たなビジネスモデルが構築されています。

【超スマート社会（農林水産業に起こる変革）】

- ・農林水産業では、栽培管理等に革新技术の活用が進むことで、生産性が飛躍的に高まり、高い付加価値を生み出す成長産業へと進化を遂げています。

【超スマート社会（社会インフラに起こる変革）】

- ・道路、河川、上下水道、学校などの社会インフラの維持管理面においては、ドローンやIoTによる状況把握、AIによる損傷診断、ロボットによる危険箇所点検など、高精度かつ効率的なインフラ管理が可能となり、安全安心な社会インフラが保たれています。

【超スマート社会（観光産業に起こる変革）】

- ・ V R の普及により、本場・徳島の阿波おどりが放つ熱気や高揚感が世界中にリアルに伝わり、“阿波おどりの聖地・徳島”を訪れるインバウンド客が増え続けています。
- ・ A I による多言語対応の自動翻訳機の普及によって、世界各国から来県するインバウンド客は県内のどこでも円滑なコミュニケーションが可能となり、旅行者は県民との交流を深め、徳島の旅を楽しんでいます。

（３）未知なる魅力を創造「ときめく とくしま」

未来を切り拓くひとが育ち・集い・輝くことで、ひとを惹きつける
新たな価値や魅力を創造する徳島

【地域の強みとイノベーションが結びつき新産業が創り出されている】

【徳島の強みを活かした新産業創出】

- ・ 世界最先端のイノベーション創出環境を求めて、多くのベンチャー企業や研究開発機関が集まり、I C T や環境・エネルギー、医療・健康分野、C N F（セルロースナノファイバー）などの高機能素材分野において、多様な産業・人材集積を活かした新産業・新サービスの創出やグローバル展開が図られています。

【伝統産業（木工、藍）におけるイノベーション】

- ・ 徳島が誇る２つのブルー「L E D」と「藍」によって織りなされる製品や、優れた機能・デザインが人気を集めている木工家具など、徳島の産業の粋を集めた“MADE IN TOKUSHIMA”が世界中で愛されています。

【農林水産業の６次産業化、輸出拡大】

- ・ 徳島の風土によって育まれた「安全・安心」、「高品質」を誇る徳島の農林水産物が世界でも認められ、海外輸出量が飛躍的に増大するとともに、産学官による６次産業化やE Cによる販路拡大が図られるなど、本県の農林水産業が、国内外の「食」を支えています。

【林業振興】

- ・ 豊かで良質な森林資源とドローンやI C Tを活用した適切な森林管理、優れた木材加工技術を背景に、県産材製品の販路が国内外に広がるとともに、川上から川下まで、森林資源による持続可能な循環型経済システムが確立され、林業アカデミーの卒業生が徳島の森でいきいきと活躍しています。

【未来を創る人財が育ち・集い・新たな価値が生み出されている】

【A I、ロボットが社会に浸透する中での人財育成】

- ・ A I やロボットが多くの職業に取り入れられる中、徳島ならではの人づくり・人財育成の取り組みによって、創造性やコミュニケーション、情報・I C T リテラシーなどの「21世紀型スキル」を身につけた“未来を創り出す人財”が育っています。

【クリエイティブ人材の集積・産業化】

- ・ 世界最高水準のI C T インフラと革新技術がいち早く社会実装された徳島は、豊かな自然を満喫できる快適な居住環境や地域ぐるみの受入れ態勢も伴い、世界をリードする多くのクリエイティ

ブ人財を惹きつけ、徳島の若者たちと刺激し合いながら、「新たな価値」を創造・発信しており、クリエイティブ産業が本県の主要産業に成長しています。

【徳島ならではの文化・スポーツが継承・創造され魅力を増している】

【オリパラレガシー：トップアスリートの輩出】

- ・東京2020オリンピック・パラリンピック等の数々の国際スポーツ大会や本県でのキャンプ開催によって積み重ねられた世界各国のトップアスリートとの交流は、レガシーとして継承され、若者は様々な競技種目のトップレベルのパフォーマンスを間近に体感できる恵まれた環境の中で、夢や高いモチベーションを抱きながら指導を受け、徳島から多くのトップアスリートが世界に羽ばたいています。

【オリパラレガシー：「あわ文化」新価値創造】

- ・東京2020大会等の機会を通じ、世界に発信された「阿波藍」「阿波人形浄瑠璃」「阿波おどり」「ベートーヴェン・第九」をはじめとする「あわ文化」は、多くの人々の心に強く刻みこまれ、国内外との交流が拡大するとともに、多様な担い手によって、様々な文化や価値観との融合が図られ、「新たな価値」を創造しながら進化を続けています。

【超スマート社会（文化芸術における変革）】

- ・VRやICTの進展は、より多くの子どもたちが「あわ文化」や国内外の一流の文化芸術を見て、聞いて、触れて、さらには自ら演じる機会を一層広げ、「ふるさと徳島」への誇りを胸に多くのアーティストが世界を舞台に活躍しています。

【文化・スポーツ資源における魅力創造】

- ・我が国が誇る世界遺産「四国八十八箇所霊場と遍路道」での心のこもった「おもてなし」や、「鳴門の渦潮」をはじめとした自然景観、また、雄大な河川やバラエティに富んだ海岸でのラフティング・サーフィンといった体験型スポーツ、アニメやeスポーツなどを取り入れた徳島発のイベントなど、徳島の歴史・自然・文化を活かした観光資源が地域の魅力として輝きを放ち、世界中から旅行者を惹きつけ、リピーターを増やしています。

【未来につながるインフラ整備により徳島のポテンシャルが増している】

【高速交通ネットワーク】

- ・災害時のリダンダンシーの確保にも寄与する「四国8の字ネットワーク」や四国新幹線などの高速交通ネットワーク、世界とつながる空港、港湾への国際定期便の運航やクルーズ船の寄港を通じて、国内はもとより世界との交流が飛躍的に拡大するなど、徳島の有するポテンシャルがさらに高まっています。

【革新技术を活用した地域課題の解決や地域づくりが進んでいる】

【超スマート社会（地域に起こる変革）】

- ・革新技术が地域に実装されることにより、ものづくりや農林水産業、医療、介護などの地域の担い手・労働力不足といった地域課題を解決するとともに、地域の暮らしに豊かさとゆとりが創出されています。

【超スマート社会（地域の「仕事・移住」に起こる変革）】

- ・ I C Tインフラと革新技術の進展によって、どこに住んでいても様々な職業を選択することが可能となり、若者は地元に住みながら世界の第一線で活躍し、都市部から地域への移住も増えています。

【超スマート社会（地域の「移動手段・買い物」に起こる変革）】

- ・ 自動運転バスや、需給に応じて配車が行われるシェア型モビリティが県内各地で運行され、移動サービスのネットワークが構築されるとともに、ドローンや自動運転トラックによる買い物支援・物流サービスが提供されており、移動手段や買い物に困ることのない地域社会が実現しています。

【超スマート社会（地域の「まちづくり」に起こる変革）】

- ・ I C Tや自動運転技術が進展する中においても、人々がフェイスtoフェイスで出会い、対話の生まれる拠点づくり・ユニバーサルなまちづくりが進み、多様な移動サービスによって拠点と拠点が結ばれ、子どもから高齢者まで多くの人々の笑顔であふれています。